

～友愛～

富田中学校だより

学校教育目標

「確かに生きる」

令和 5年 2月27日

No.24

□ 2年生 ～キャリア学習～

17日(金) 5・6限目に2年生が体育館でキャリア学習を行いました。

事前に「近畿地方に修学旅行に行くならどんなプランを立てるか」という課題で、各班でプランを作成し発表した後、各クラスで代表を決定し、代表班がプレゼンテーションを行いました。来年度の修学旅行でお世話になる旅行業者の三輪啓文さんにゲストティーチャーとしてお越しいただき、講評をしていただきました。

その後、三輪さんより自身が仕事を選んだ理由や仕事の内容について講演をしていただきました。2年生の皆さんは、来年度は具体的に進路を選択していきます。今年度は過去2年間中止になっていた職場体験学習を実施することができました。その直後ということで、より職業についての関心が高まっているところだと思います。今回の講話が全員のニーズに合っていることは少ないかも知れません。しかし、その道のプロの方の話を生で聴くことにより、得るものも大きかったと思います。職場体験や今回の話から、その生き方を学ぶとともに働くことの意義や職業の内容、大変さややりがいなど多くを学ぶことができました。2年生の皆さんには、今回のキャリア学習で学んだことを活かし、自分の将来の仕事や進路選択につなげていってほしいと思います。



キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことです。また、「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」という意味でもあります。

学校としては、今回のように職業について具体的に知る機会をつくることも大切ですが、毎日の学校生活や授業を通して「社会人として自立した人」となるよう育てていくことも重要だと考えます。

本校の教育目標「確かに生きる」を丁寧に言うと、「社会人として自立し、確実に生きることができる人」となります。生徒がそうした社会人となるよう、学校だけでなく保護者や地域の皆さんと協働しながら、「授業を大切にしている学校」「一人ひとりを大切にしている学校」「保護者や地域と協働し高め合う学校」の三つの決意のもと、取り組んでいきたいと思っています。

□ 1・2年生 学年末テスト

21日(火) 22日(水) 24日(金)の3日間、1・2年生にとって本年度最後の定期テストとなる「学年末テスト」を実施しました。

今回の結果を加味した成績は「学年末の成績」、即ちその「学年の成績」となります。1年後2年後の進路選択の際に、多くの高校の調査書(内申書)に記載されるのは3年生の成績だけではありません。それぞれの「学年末の成績」も記載されることが多いです。(県立高校は必ず記載されます)

テストの点数だけに一喜一憂するのではなくテストが返ってきたら各自で1年間の学習面や生活面をしっかりと振り返る時間をもちましょう。いよいよ進級に向けてのカウントダウンです。3学期は三者懇談会がありませんが、一息ついたら気持ちを切り替えて、まとめとともに次年度に向けての準備もはじめましょう。

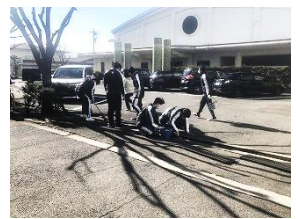


□3年生 奉仕作業

21日(火)午後、1・2年生が学年末テスト初日で下校した後の学校で、3年生の奉仕作業がありました。5限目は教室のワックスがけなど屋内作業、6限目は屋外での作業でした。多くの学校で行っている卒業間近の3年生の恒例行事です。クラス毎に、分担された場所で作業してくれました。特に駐車場の溝掃除は、私(校長)からお願いをしました。大雨が降ると枯れ葉が詰まって駐車場が浸水してしまい危険でした。

晴れてはいましたが、冷たい北風が強く小雪が混じる中、特に屋外の作業は顔や手が冷たかったと思います。そんな中でも3年生の皆さんは、本当に気持ちを込めて作業に取り組んでくれました。おかげでとてもきれいになりました。

最初に「多くの学校で恒例の」と書きましたが、その取組の様子は学校によって違いがあることも多いです。違いは何か? ずばり、「生徒が奉仕作業にどのような姿勢で臨んでいるか」です。富田中学校の3年生の皆さんは、本当にまじめに、前向きに作業に取り組み、まさに「立つ鳥跡を濁さず」を体現するかのようでした。卒業間近になり、改めて3年生の学校のためを思う気持ちの強さを感じました。3年生の皆さん、お疲れ様でした。本当にありがとうございました。



□部活動数の見直しについて

昨年度も、この時期に「友愛」でお知らせした今後の部活動数の見直しについての確認です。

◆陸上競技部(男女)◆ 令和4年度(本年度)から部員募集を停止。令和5年度3年生活動終了までは存続。

◆剣道部(男女) 硬式テニス部(男子)◆ 令和5年度(来年度)は部員募集を停止。令和6年度3年生活動終了までは存続。

このことについては、それぞれの年度当初に当時の1年生が入部を検討する際、「自分たちが2年生又は3年生になったときには1年生は入部してこない」ということを伝えてあります。

上記3つの部活動以外の削減は現時点では予定していません。今後、教育委員会が主導して行っている「部活動地域移行」の経過等についても随時お知らせをしていきます。また、学校外で体育的及び文化的な活動を行っている生徒が所属している「校外活動部」についても、柔軟に対応できるよう継続していく予定です。確認のため、これまでの経緯を下に載せました。何よりも「生徒の安心・安全の確保」が一番の目的です。何卒ご理解の上、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【部活動数見直しの主な理由】 ①市内ほとんどの学校は複数顧問が配置されているが富田中は一人顧問が多いため部活動数を見直し、できる限り複数配置にしていくことが必要 ②最大の理由は「生徒の安全・安心の確保」➡職員は授業後も会議や出張があり常時指導にあたるのが難しい。生徒の怪我等安全面の対応だけでなくトラブルの未然防止(心の安全)のためにも複数配置が必要 ③教職員の働き方改革の観点からも複数配置が望ましい➡「部活動ガイドライン」が制定され、平日及び週休日の部活動は、日数、時間ともに制限されているが一人顧問では練習日はすべて一人で指導にあたることになり時間外勤務が増えることにつながっている。

【削減にあたって考慮した点】

①部員数(今後の見込み) ②競技の特性(主に安全上) ③団体種目か個人種目か ④指導者の専門性が必要か否か ⑤部活動が設置されていなくても中体連の大会に出場できるかどうか ⑥部活動が設置されていなくても地域に活動できるクラブチームや少年団等があるか